

令和5年8月17日

交通事故概況

令和5年7月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況（7月末計上数（確定数））

1 令和5年7月中の交通事故発生状況

区分\内容	7月中		7月末	
		前年比		前年比
発生件数（件）	658	11	4,964	254
死者数（人）	21	8	64	8
傷者数（人）	767	46	5,844	351

[過去10年、7月中及び年間死者の推移]

区分\年別	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	過去平均		R5年
											10か年	5か年	
7月中死者	17	10	12	13	17	13	16	15	14	13	14	14	21
7月末死者	83	86	88	75	75	75	69	69	66	56	74	67	64
年間死者	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115	151	134	—

都道府県別（7月中）

順位	1	2	3	4	5
都道府県名	北海道	東京	大阪	埼玉	愛知
死者数	21	16	15	13	10

都道府県別（7月末）

順位	1	2	3	4	6
都道府県名	大阪	愛知	東京	神奈川	千葉
死者数	96	82	68	66	64

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 7月中の死亡事故（死者21人）

- 事故類型別：正面衝突が8人（38.1%）、人対車両が6人（28.6%）
- 道路別：国道が9人（42.9%）、道道が8人（38.1%）
- 地形・道路形状別：非市街地カーブが9人（42.9%）、市街地交差点が5人（23.8%）
- 発生時間別：6～8時、10～12時が各々5人（23.8%）
- 第一当事者年齢別（第1当原付以上）：若年運転者が7人（33.3%）、40歳代、50歳代の運転者が各々5人（23.8%）
- 第一当事者違反別（第1当原付以上）：前方不注意が8人（38.1%）、最高速度が5人（23.8%）
- 死者年齢別：若年者の死者が7人（33.3%）、高齢者の死者が5人（23.8%）

(2) 7月末の死亡事故（死者64人）

- 事故類型別：
 - ・ 正面衝突が20人31.3%（うち前方不注意が11人55.0%、最高速度が4人20.0%）
 - ・ 人対車両が18人28.1%（うち前方不注意が6人33.3%）
 - ・ 車両単独が16人25.0%（うち前方不注意が8人50.0%、最高速度が3人18.8%）
- 道路別：
 - ・ 国道が27人42.2%（うち正面衝突が11人40.7%、人対車両が6人22.2%）
 - ・ 道道が20人31.3%（うち正面衝突が6人30.0%、出会い頭、車両単独が各々5人25.0%）
- 地形・道路形状別：
 - ・ 市街地交差点が19人29.7%（うち人対車両が11人57.9%、出会い頭が3人15.8%）
 - ・ 非市街地カーブが19人29.7%（正面衝突が13人68.4%、車両単独が6人31.6%）
- 発生時間別：
 - ・ 10～12時が12人18.8%（うち正面衝突が8人66.7%、出会い頭が2人16.7%）
 - ・ 18～20時が9人14.1%（うち車両単独が5人55.6%、人対車両が2人22.2%）
- 第一当事者年齢別（第1当原付以上）：
 - ・ 40歳代の運転者による死者が16人25.0%（うち人対車両が7人43.8%、出会い頭が5人31.3%）
 - ・ 高齢運転者による死者が15人23.4%（うち正面衝突、車両単独が各々6人40.0%）
- 第一当事者違反別（第1当原付以上）：
 - ・ 前方不注意が26人40.6%（うち正面衝突が11人42.3%、車両単独が8人30.8%）
 - ・ 最高速度が7人10.9%（正面衝突が4人57.1%、車両単独が3人42.9%）
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が23人35.9%（うち人対車両が11人47.8%、車両単独が5人21.7%）
 - ・ 50歳代の死者が11人17.2%（うち正面衝突が4人36.4%、人対車両、車両単独が各々3人27.3%）
- シートベルト着用者：
 - ・ 自動車乗車中の死者35人中、シートベルト非着用者は6人（17.1%）であり、その内の3人は、シートベルトを装着していれば助かった可能性が高い。

(3) 方面別発生状況

7月中の死者は札幌方面が8人(38.1%)、釧路方面が7人(33.3%)、旭川方面が3人(14.3%)、北見方面が2人(9.5%)となっている。

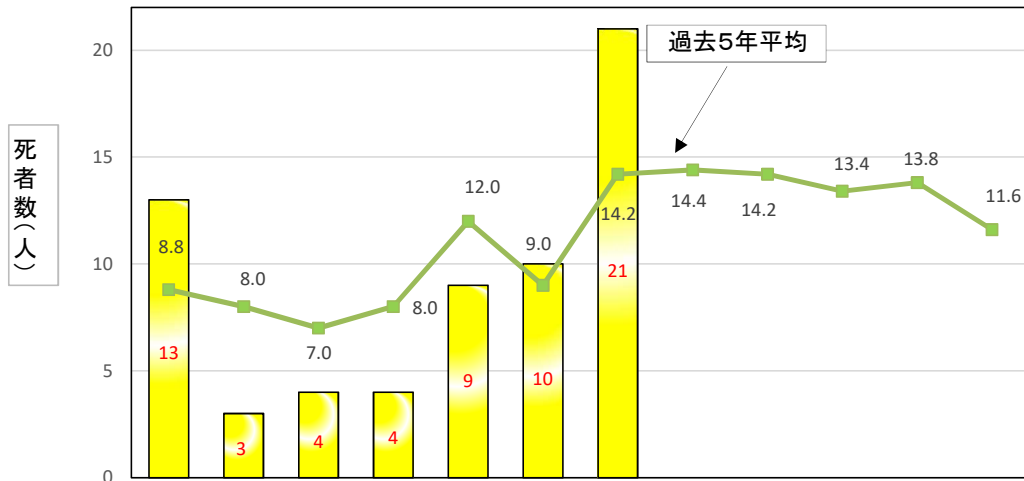
7月末の死者数は札幌方面が32人(50.0%)、釧路方面が11人(17.2%)、旭川方面が8人(12.5%)、函館方面が7人(10.9%)、北見方面が6人(9.4%)となっている。

7月中	方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数	
		前年比	前年比	前年比	前年比		
	全道	658	11	21	8	767	46
	札幌方面	470	-7	8		552	17
	函館方面	56	5	1	1	65	10
	旭川方面	44	-13	3		51	-15
	釧路方面	68	20	7	5	78	29
	北見方面	20	6	2	2	21	5

7月末	方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数	
		前年比	前年比	前年比	前年比		
	全道	4,964	254	64	8	5,844	351
	札幌方面	3,686	177	32	-1	4,323	256
	函館方面	308	-39	7	4	375	-37
	旭川方面	376	-8	8	-4	449	-28
	釧路方面	464	119	11	4	535	153
	北見方面	130	5	6	5	162	7

(4) 月別発生状況の推移

7月中の死者は21人で過去5年平均14.2人を上回っている。
7月末の死者数は64人で過去平均67.0人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和5年	13	3	4	4	9	10	21						64
年間累計	13	16	20	24	33	43	64						
過去5年平均	8.8	8.0	7.0	8.0	12.0	9.0	14.2	14.4	14.2	13.4	13.8	11.6	134.4
累計平均	8.8	16.8	23.8	31.8	43.8	52.8	67.0	81.4	95.6	109.0	122.8	134.4	

(5) 都道府県別死者

7月中は北海道が21人で最も多く、次いで東京都が16人、大阪府が15人、埼玉県が13人、愛知県と兵庫県が各々10人となっている。

7月末は大阪府が96人で最も多く、次いで愛知県が82人、東京都が68人、神奈川県と千葉県が各々66人で、北海道は64人で6位となっている。

区分\都道府県	北海道	東京	大阪	埼玉	愛知	兵庫	千葉	福岡	神奈川	三重	全国
7月中死者数	21	16	15	13	10	10	9	9	8	8	236
ワースト順位	1	2	3	4	5	5	7	7	9	9	—
前年比	8	4	5	4	-1	-5	-2	2	2	1	29
増減率(%)	61.5	33.3	50.0	44.4	-9.1	-33.3	-18.2	28.6	33.3	14.3	14.0

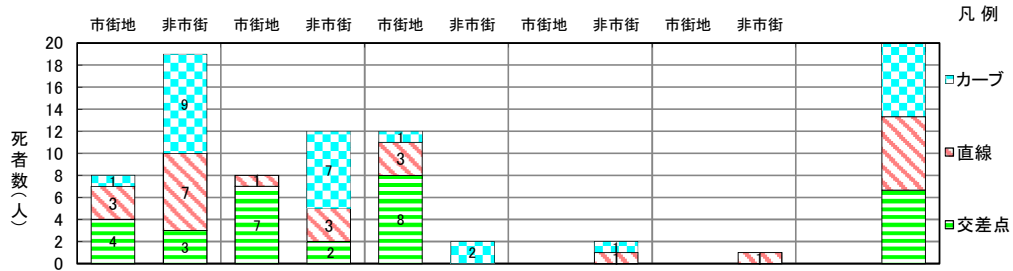
区分\都道府県	大阪	愛知	東京	神奈川	千葉	北海道	埼玉	福岡	茨城	兵庫	全国
7月末死者数	96	82	68	66	66	64	61	53	50	50	1,418
ワースト順位	1	2	3	4	4	6	7	8	9	9	—
前年比	16	2	-1	2	-2	8	0	17	12	-22	53
増減率(%)	20.0	2.5	-1.4	3.1	-2.9	14.3	0.0	47.2	31.6	-30.6	3.9

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道が27人(42.2%)、次いで道道が20人(31.3%)となっている。

- ・ 国道は非市街地カーブが9人(33.3%)、非市街地直線が7人(25.9%)
- ・ 道道は市街地交差点、非市街地カーブが各々7人(35.0%)

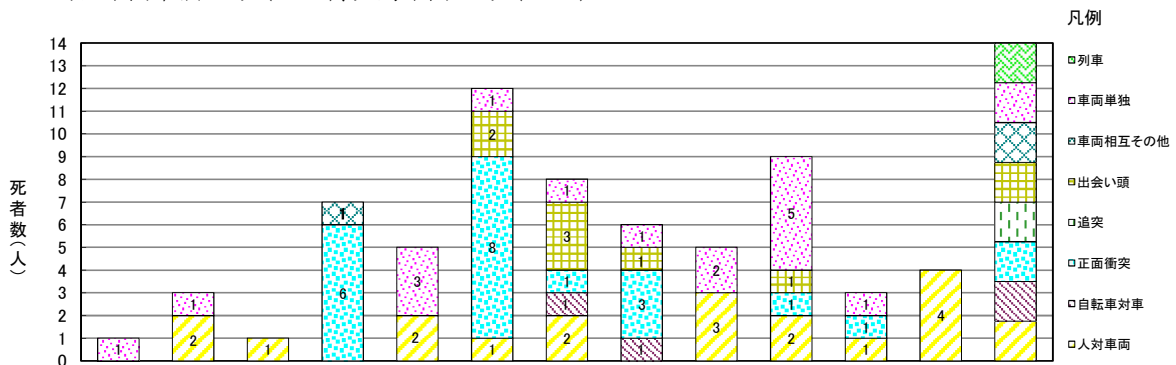


区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	27	20	14	2	1	64
構成率(%)	42.2	31.3	21.9	3.1	1.6	100.0
過去5年構成率	40.1	21.9	30.6	2.2	5.2	100.0

(2) 時間別

10～12時が12人(18.8%)で最も多く、次いで18～20時が9人(14.1%)となっている。

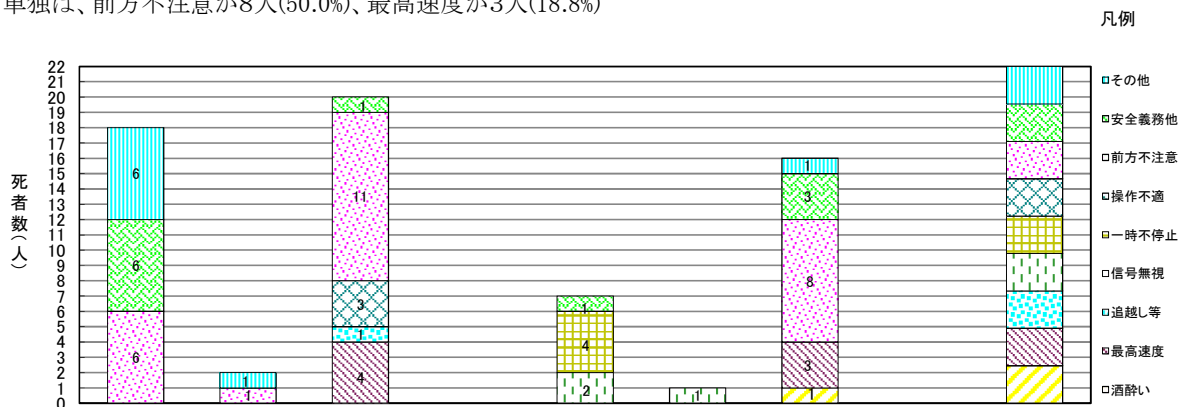
- ・ 10～12時は正面衝突が8人(66.7%)、出会い頭が2人(16.7%)
- ・ 18～20時は車両単独が5人(55.6%)、人対車両が2人(22.2%)



(3) 事故類型別

正面衝突が20人(31.3%)、次いで人対車両が18人(28.1%)、車両単独が16人(25.0%)となっている。

- ・ 正面衝突は、前方不注意が11人(55.0%)、最高速度が4人(20.0%)
- ・ 人対車両は、前方不注意が6人(33.3%)
- ・ 車両単独は、前方不注意が8人(50.0%)、最高速度が3人(18.8%)

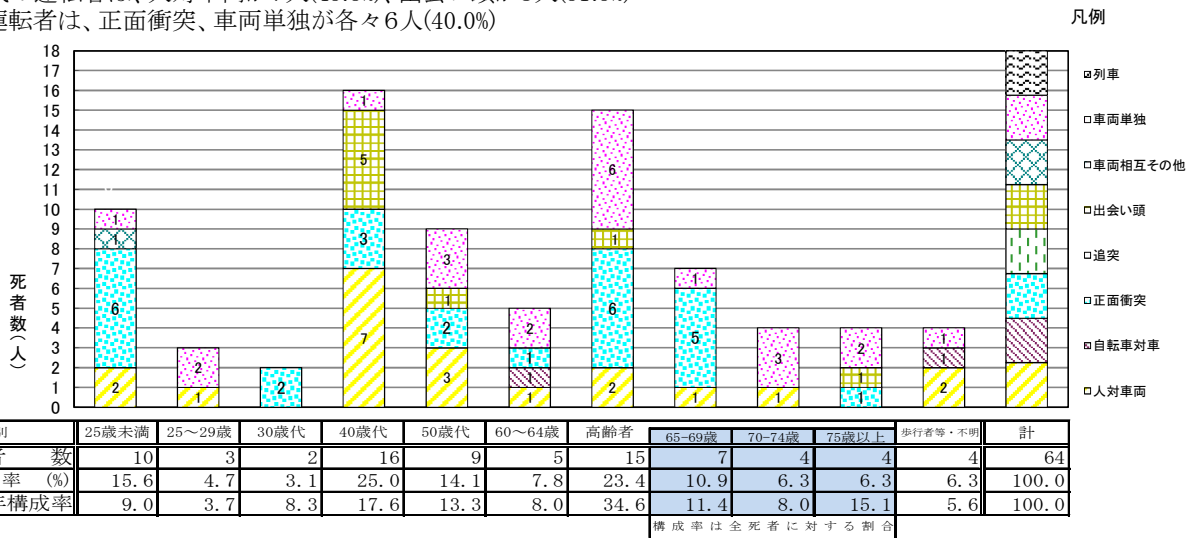


区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	18	2	20	0	7	1	16	64	
構成率(%)	28.1	3.1	31.3	0	10.9	1.6	25.0	100.0	
過去5年構成率	25.0	5.2	21.0	1.5	10.5	4.3	31.5	100.0	

(4) 第一当事者の年齢層別

40歳代の運転者によるものが16人(25.0%)で最も多く、次いで高齢運転者が15人(23.4%)となっている。

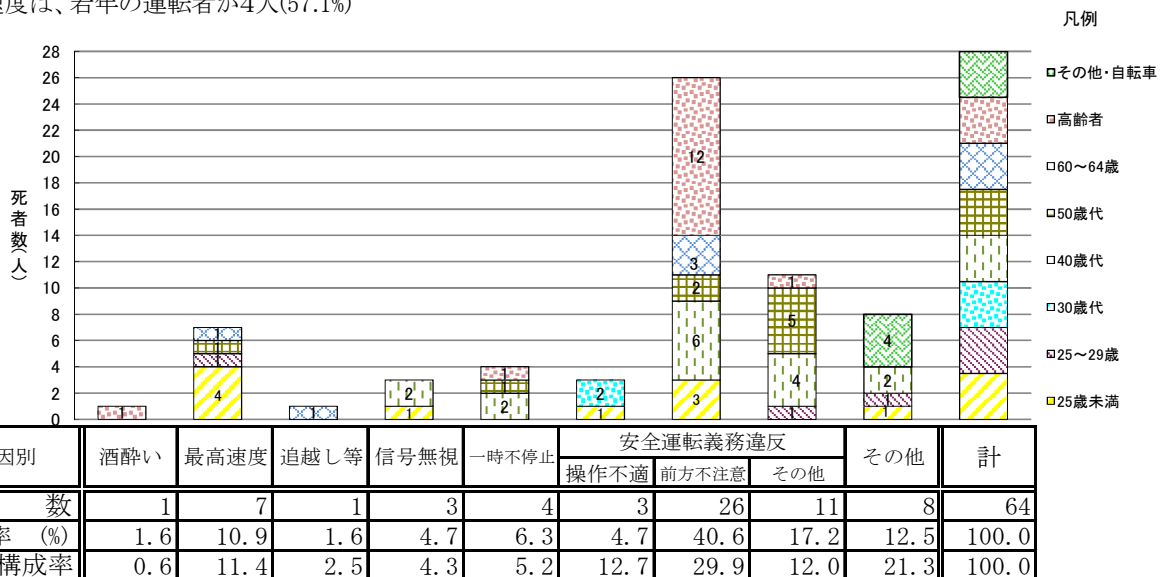
- ・40歳代の運転者は、人対車両が7人(43.8%)、出会い頭が5人(31.3%)
- ・高齢運転者は、正面衝突、車両単独が各々6人(40.0%)



(5) 第一当事者の違反(原因)別

前方不注意によるものが26人(40.6%)で最も多く、次いで最高速度によるものが7人(10.9%)となっている。

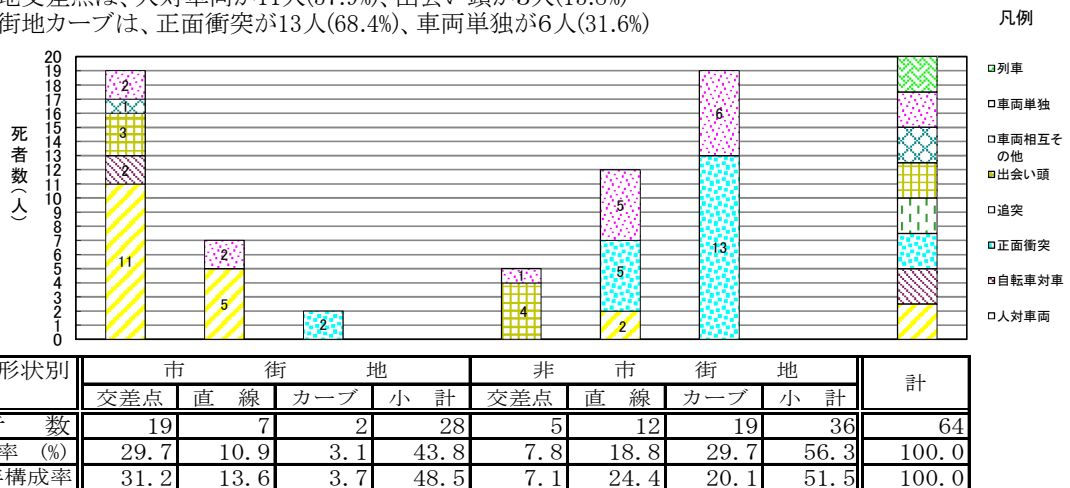
- ・前方不注意は、高齢運転者が12人(46.2%)、40歳代の運転者が6人(23.1%)
- ・最高速度は、若年の運転者が4人(57.1%)



(6) 地形・道路形状別

市街地交差点、非市街地カーブが各々19人(29.7%)となっている。

- ・市街地交差点は、人対車両が11人(57.9%)、出会い頭が3人(15.8%)
- ・非市街地カーブは、正面衝突が13人(68.4%)、車両単独が6人(31.6%)

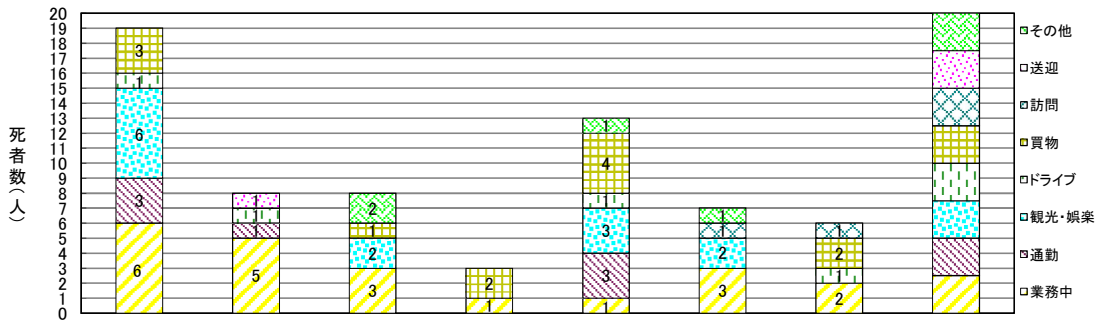


(7) 曜日別

日曜日が19人(29.7%)、次いで木曜日が13人(20.3%)となっている。

- ・ 日曜日は、業務、観光・娯楽が各々6人(31.6%)
- ・ 木曜日は買物が4人(30.8%)、通勤、観光・娯楽が各々3人(23.1%)

凡例



区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	19	8	8	3	13	7	6	64
構成率(%)	29.7	12.5	12.5	4.7	20.3	10.9	9.4	100.0
過去5年構成率	19.1	12.0	13.6	12.7	14.2	17.3	11.1	100.0

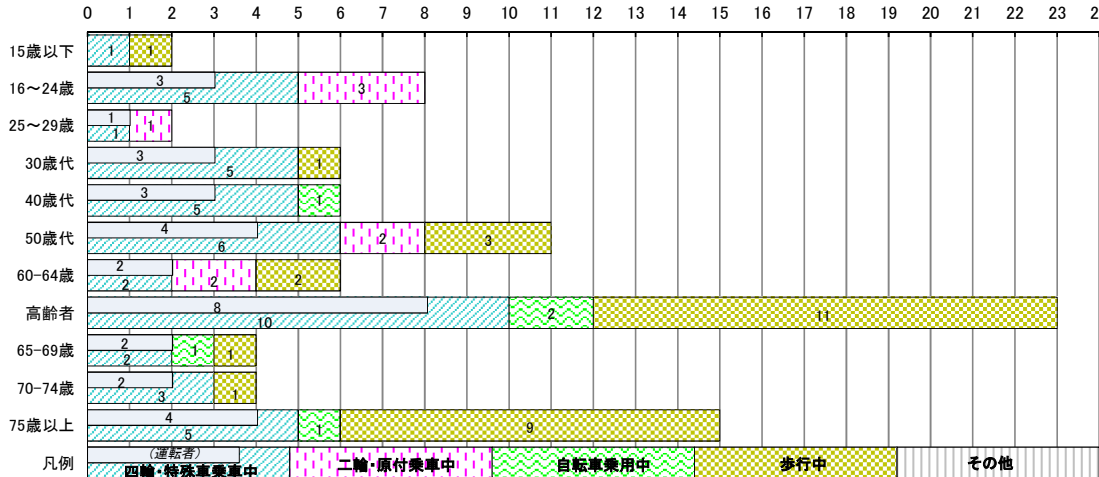
(8) 状態別・年齢層別

死者の年齢層別では、高齢者が23人(35.9%)で、うち75歳以上が15人(65.2%)となっている。

四輪乗車中の死者が35人(54.7%)で最も多く、次いで歩行中の死者が18人(28.1%)となっている。

- ・ 四輪乗車中の死者別年齢層は、高齢者の死者が10人(28.6%)、50歳代の死者が6人(17.1%)
- ・ 歩行中は、高齢者の死者が11人(61.1%)、50歳代の死者が3人(16.7%)

死者数(人)



状態別 年齢層別\		四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (原付を含む)	自 転 車 乗 用 中	歩 行 中	そ の 他	計	構 成 率	5年構成率
15歳以下	死者数	1				1	2	3.1	2.8
16~24歳	死者数	5	3				8	12.5	6.2
25~29歳	死者数	1	1				2	3.1	2.8
30歳代	死者数	5				1	6	9.4	7.4
40歳代	死者数	5			1		6	9.4	9.3
50歳代	死者数	6	2			3	11	17.2	11.1
60~64歳	死者数	2	2			2	6	9.4	7.4
高齢者	死者数	10			2	11	23	35.9	53.1
65-69歳	死者数	2		1		1	4	6.3	12.3
70-74歳	死者数	3				1	4	6.3	9.6
75歳以上	死者数	5		1		9	15	23.4	31.2
計	死者数	35	8	3	18		64	100.0	
	構成率	54.7	12.5	4.7	28.1		100.0	—	—
	過去5年構成率	53.4	14.2	6.5	25.3	0.6	100.0	—	—

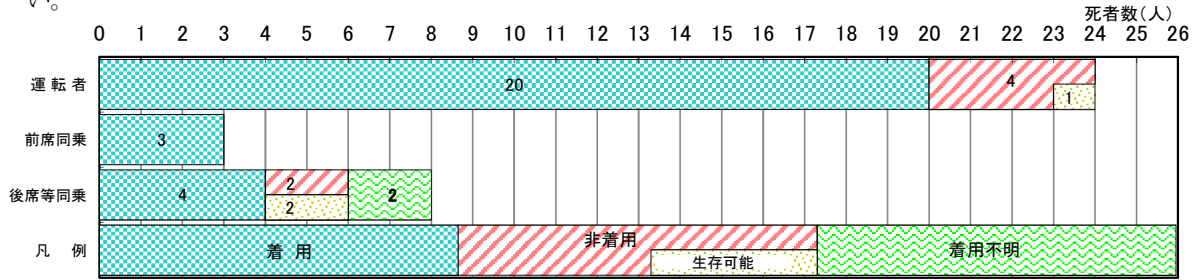
注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

自動車乗車中の死者35人中、シートベルト非着用者は6人(17.1%)となっている。

非着用者の6人のうち、3人は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していた可能性が高い。



区分	四輪乗車中等	着用				非着用				着用不明	
		計	運転者	同乗者 助手席	同乗者 後部席	計	運転者 生存可	同乗者(助手席) 生存可	同乗者(後部席) 生存可		
令和5年	35	27	20	3	4	6	4	1	0	2	2
構成率(%)	100.0	77.1	74.1	11.1	14.8	17.1	66.7	25.0	0	33.3	5.7

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が2人(33.3%)、30歳代、40歳代、50歳代、60～64歳が各々1人(16.7%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
	ヘルム着用	6	1	4	4	3	1	8	2	2	4	
構成率(%)	22.2	3.7	14.8	14.8	11.1	3.7	29.6	7.4	7.4	14.8		100.0
ヘルム非着用			1	1	1	1	2		1	1		6
構成率(%)			16.7	16.7	16.7	16.7	33.3		16.7	16.7		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。
着用不明を除く。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者6人の損傷加害部位をみると車内他が2人(33.3%)、車外他、天井、座席、そのほか各々1人(16.7%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	フロントガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	車内他	その他	計
ヘルム着用			11	1	1	4	1		4	3	2	27
構成率(%)			40.7	3.7	3.7	14.8	3.7		14.8	11.1	7.4	100.0
ヘルム非着用		1						1	1	2	1	6
構成率(%)		16.7						16.7	16.7	33.3	16.7	100.0
運転者		1						1		1	1	4
構成率(%)		16.7						16.7		16.7	16.7	66.7
同乗者									1	1		2
構成率(%)									16.7	16.7		33.3

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。
着用不明を除く。